

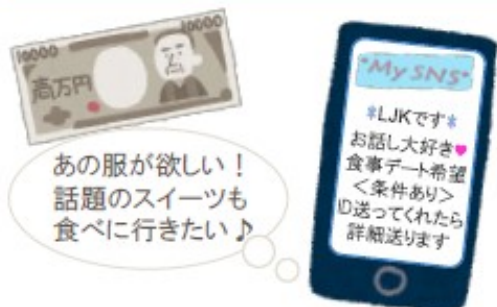
「パパ活」の危険性・危ない小遣い稼ぎ

～インターネットトラブル事例集より～



デートや食事だけで金銭的支援をしてくれる異性との交際活動を「パパ活（ママ活）」と呼び、SNSを使って援助交際よりも軽い気持ちで相手を募集する人がいます。簡単な気持ちでお小遣い稼ぎをしたり、見知らぬ人に会ってはいけません。こういった行為は、児童買春、薬物投与、誘拐、ストーカー、最悪の場合「殺人」事件に発展する恐れもあります。

お小遣いをもらうために投稿したら



※LJKは「ラスト女子高生（高校3年生）」を指す隠語

欲しいものがたくさんあるIさんは、お小遣い稼ぎに軽い気持ちで「パパ活相手募集」のメッセージをSNSに投稿し、食事に行くことになりました。

連れて行かれそうになった



食後気分が悪くなり、急に眠くなって…異変に気づいた店員に助けられました。Iさんの離席中、パパ活相手が睡眠薬を飲み物に入れたことが原因でした。

★考えてみよう！

○危険な書き込みがもたらすもの

上の例は、不幸中の幸いです。あなたの書き込みが、**自分の身を危険にさらす行為**だということを肝に銘じる必要があります。

パパ活の相手は、何を考えているかわかりません。あなたの**命**を奪おうと考えている人もいるかもしれません。

○一呼吸置いて落ち着き、保護者に相談しましょう

何かを欲しい気持ちを上手にコントロールするには、**一呼吸置く**ことが有効です。保護者の人と一緒に**安全な解決策**を考えましょう。

★参考

全国の警察で、SNSでのやりとりをきっかけに子どもが犯罪に巻き込まれるのを防ごうと、**警察官が注意喚起の投稿をする取り組み**をしています。

<参考> ・総務省「インターネットトラブル事例集（2020年度版）」
https://www.soumu.go.jp/main_content/000681954.pdf

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課

☎0776-20-0745（直通）

メール：kenan@pref.fukui.lg.jp

子どもの安全安心に関する情報を
ツイッターで発信しています →

